

事 業 報 告 書

第 1 令和 5 年度事業の概要

保有農地の売却及び貸付事業として、能登開発地及び河北潟干拓農地において、経営規模拡大志向農家や新規就農者を対象に売却事業を進めるとともに、貸付事業による有効活用を図った。

また、畜産振興事業では、受託放牧事業として、辰口及び富来の 2 放牧場において、乳用牛・肉用牛の子牛を農家から預かり育て、種付けした後に農家に返す育成事業を実施するほか、富来放牧場では、生後間もない子牛を預かる哺育事業も併せて実施し、農家の子牛育成に係る労力を軽減し、農家の経営安定を図った。

1 保有農地の売却及び貸付事業

(1) 農用地売却事業 0円 (対前年比増減なし)

(2) 農用地貸付事業 22,567,480円 (対前年比 3,550,232円 の増)

公社保有地 308.7ha (能登開発地 61.5ha、河北潟干拓地 247.2ha)のうち、能登開発地 33.9ha、河北潟干拓農地 245.3haをそれぞれ担い手農家に貸付けた。

また、河北潟干拓農地において、1.8ha (169区画) をふれあい農園として一般県民に貸付けた。

区 分	貸 対 象 者	付 数	筆 数	面 積	金 額	摘 要
能登開発地	9 (2)	件	36 (2)	ha 33.9 (1.4)	円 726,750 【0】	
河北潟開発地	151		359	247.1	21,840,730 【3,550,232】	
普通畑	32		342	198.6	18,382,810 【3,546,732】	
飼料畑	1		7	44.0	2,597,071 【0】	
施設用地	3		7	2.7	258,849 【0】	
計	36 (4)		356 (8)	245.3 (4.7)	21,238,730 【3,546,732】	
ふれあい農園	115		3	1.8	602,000 【3,500】	100%利用
合計	160 (6)		395 (10)	281.0 (6.1)	22,567,480 【3,550,232】	

()は売買予約契約による貸付, 【 】対前年比増減

2 畜産振興事業

(1) 受託放牧事業 110,939,850円 (前年比 8,934,850円 の増)

畜産農家の経営の安定・合理化を支援するため、832頭の受託育成を実施したほか、373頭の受託哺育を行った。

区 分	事 業 量				金 額
	受託頭数 (頭)		年間延頭数 (頭)		
育成	832	(▲ 5)	150,211	(▲ 1,085)	円
辰口放牧場	188	(▲ 31)	74,489	(▲ 4,086)	87,619,290
	185	(▲ 12)			(6,511,290)
富来放牧場	191	(▲ 3)	75,722	(3,001)	
	268	(41)			
哺育	373	(14)	45,818	(2,750)	23,320,560
富来放牧場	126	(5)	45,818	(2,750)	(2,423,560)
	247	(9)			
合 計	1,205	(9)	196,029	(1,665)	110,939,850
					(8,934,850)

()は対前年比増減

(2) 放牧場機械整備事業 6,927,800円 (前年比 256,300円 の増)

受託放牧事業を円滑に実施するために必要な農業機械の更新を行った。

区分	整備機械	事業費
辰口放牧場	ロールベアラー	円
		5,610,000
富来放牧場	レーキ	1,317,800
合 計	計 3 件	6,927,800

(3) 内浦駐在所管理運営事業 33,491,349円 (前年比 2,354,064円 の増)

内浦駐在所において、県畜産試験場能登畜産センターの草地及び家畜飼養管理業務を県から受託した。

(4) 放牧場災害復旧工事費 15,205,081円

能登半島地震で被災した富来放牧場施設の応急復旧に必要な工事等を実施した。